

① Stockマネジメント実施の基本方針

【状態監視保全】 … 機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能な施設を対象とする。

※ 状態監視保全とは、「施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法」をいう。

【時間計画保全】 … 機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な施設を対象とする。

※ 時間計画保全とは、「施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法」をいう。

【事後保全】 … 機能発揮上、特に重要でない施設とする。

※ 事後保全とは、「施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法」をいう。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
管渠、マンホール	1回/5年の頻度で点検を実施。点検で異状を確認した場合には、調査を実施。	健全度Ⅲ以下で改築を実施。	腐食のおそれの大きい箇所
管渠、マンホール	1回/5年の頻度で点検を実施。調査は1回/10年の頻度で実施	健全度Ⅲ以下で改築を実施。	リスク評価の結果、高リスクと診断された箇所
管渠、マンホール	1回/8年の頻度で点検を実施。調査は1回/15年の頻度で実施	健全度Ⅲ以下で改築を実施。	リスク評価の結果、中リスクと診断された箇所
管渠、マンホール	1回/15年の頻度で点検を実施。調査は1回/30年の頻度で実施	健全度Ⅲ以下で改築を実施。	リスク評価の結果、低リスク以下と診断された箇所

【処理場・ポンプ場施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
土木・建築躯体	1回/25年の頻度で調査を実施。	健全度 2 以下で改築を実施。	標準耐用年数の半分の期間で調査
主ポンプ設備	1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度 2 以下で改築を実施。	〃
送風機	1回/10年の頻度で調査を実施。	健全度 2 以下で改築を実施。	〃
消毒設備	1回/5年の頻度で調査を実施。	健全度 2 以下で改築を実施。	〃
汚泥濃縮設備	1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度 2 以下で改築を実施。	〃
汚泥脱水設備	1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度 2 以下で改築を実施。	〃

2) 時間計画保全施設

【管路施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
取付管	標準耐用年数	
ます	標準耐用年数	
圧送管	標準耐用年数	

【処理場ポンプ施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
受変電設備	標準耐用年数の 1.8 倍以上。	使用年数と健全度の関係から再設定した。
負荷設備	標準耐用年数の 1.8 倍以上。	〃
計装設備	標準耐用年数の 1.8 倍以上。	〃
監視制御設備	標準耐用年数の 1.8 倍以上。	〃
蓄電池を構成品としている特殊電源設備機器	標準耐用年数の 1.0 倍以上。	蓄電池は劣化進行が早く、交換頻度が高いため。

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管渠施設】 管きよ	…	—
【汚水・雨水ポンプ施設】 —	…	—
【水処理施設】 —	…	—
【汚泥処理施設】 —	…	—

③ 改築実施計画

1) 計画	平成 31年度	～	平成 35年度
2) 期間	平成 31年度	～	令和 5年度

3) 個別施設の改築計画

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	対象延長 (m)	概算 費用 (百万円)	備考
合計							

【処理場・ポンプ場施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等 の名称	合流・汚水・ 雨水の別	対象施設	設置 年度	供用 年数	施設能力	概算 費用 (百万円)	備考
五領川浄化センター	汚水	管理棟、機械棟、 水処理等	1980	36 37		115.0	耐震化
〃	〃	最初沈殿池設備	1981	37 38	17,800mmφ× 0.75kW	54.6	初沈・調整池汚泥掻寄機
〃	〃	汚泥脱水設備	1998	20 21	5m ³ /h×23.1kW	231.2	脱水機、脱水ケーキ搬出機

五領川浄化センター	〃	水処理設備	1981	37 38	100mmφ× 7.5kW	4.8	余剰汚泥 ポンプ
〃	〃	水処理設備	2001	17 18	120mL/min	2.1	次亜塩素 酸ソーダ 注入ポン プ
〃	〃	制御電源及び 計装用電源設 備	2008	10 11	—	12.4	蓄電池盤、 UPS
〃	〃	負荷設備	1982	36 37	—	115.5	コントロールセンタ
〃	〃	計測設備	1998	20 21	—	6.2	流量計
〃	〃	監視制御設備 (Ry. LCB)	1982	36 37	—	104.2	補助継電器 盤、現場盤類
〃	〃	監視制御設備 (SQC)	1999	19 20	—	355.4	シーケン サ盤
〃	〃	受変電設備	1982	36 37	—	32.5	動力Tr、 動力Tr 二 次盤
〃	〃	自家発電設備	1982	37	—	0 5.0	清水冷却 器、始動用 空気源装 置
マンホールポンプ場 (7箇所)	汚水	負荷・計装・監 視制御設備	1992 ～	26 27	—	39.2	ポンプ制御 盤、水位 計、異常通 報装置
合計						1,073.1 1,078.1	

④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

概ねのコスト縮減額	試算の対象時期
約 112百万円 / 年	概ね100年